

花粉緊急実態調査【なし調査票】

このたび、中国において火傷病の発生が確認され、火傷病菌の宿主となる植物（花粉等）の日本への輸入が停止されました。今後、今まで中国産花粉を使用されていた園地においては、来季以降は中国産花粉が使用できないことから、受粉用花粉の確保について早急に検討する必要があります。また、使用した園地において、火傷病の症状の発生の有無等の影響を確認する必要があります。

このような状況を踏まえ、下記のとおり調査を行いますので、調査の趣旨について御理解いただき、調査への御協力をお願いします。なお、調査の結果は、本調査の目的のみに使用することとし、県を通じて国に送付しますので、御了承ください。

※別紙の個人情報の取扱いについて確認の上、同意いただける場合は下記へ記入をお願いします。

個人情報の取扱いに同意します 本人署名 福島 太郎
(にチェックをお願いします)

貴方の園における**なし花粉**の利用状況について、下記の全ての項目について、回答してください。

(1) 回答者の住所 福島市杉妻町2番16号
連絡先 024-000-0000

(2) なしの生産の状況についてお聞きします。

① 生産面積 回答

50

 a
② 年間生産量 回答

8

 t 程度

※該当する項目に○を付ける、または記入をお願いします。

(3) 例年の花粉の利用実態についてお聞きします。

- ① なしの結実確保（受粉）の手段について当てはまる番号を選択してください。
- 人工受粉（自家採取した花粉のみを利用）
 - 人工受粉（購入花粉（輸入花粉含む）のみを利用）
 - 人工受粉（自家採取花粉と購入花粉を併用）
 - 花粉は利用していない（ハチ等による自然受粉のみ利用する等）

(4) 現時点での来季向け花粉の確保状況についてお聞きします。

① 必要な花粉の量はどのくらいですか。

粗花粉

200

 g
純花粉

100

 g

② 自家採取した花粉の現時点における在庫量はどのくらいですか。

粗花粉

50

 g
純花粉

0

 g

③ 本年の輸入花粉の購入量はどのくらいですか。

粗花粉

200

 g
純花粉

100

 g

④ 購入した輸入花粉の在庫量はどのくらいですか。

粗花粉	0	g
純花粉	50	g

(5) 来季に輸入花粉が使えないことによる影響についてお聞きします。

① 輸入花粉の代替手段について、次のうち取り組めそうなものはありますか。
(複数回答可)

- ① 自家採取花粉の増産
- ② 産地内や他産地からの国産花粉の入手
- ③ 花粉の節約
- ④ その他 ()

② ①の取組を行ったうえで、不足分をまかなうことはできますか。

- ① まかなえそう。
- ② まかなえそうにない。
- ③ わからない。

③ まかなうことができない場合、その量はどのくらいですか。

粗花粉	150	g
純花粉	100	g

(6) 来季以降の中長期的な花粉の安定調達についてお聞きします。

① これから取り組む予定のものがあれば教えてください。(複数回答可)

- ① 購入花粉分を自家採取でまかなう。
- ② 購入花粉分をJAの部会等で共同採取した花粉でまかなう。
- ③ 取り組む予定はない。
- ④ その他 ()

② 花粉の安定調達に向けた課題は何ですか。

()

③ 花粉の安定調達に向けて産地が必要と考える対策や要望があれば教えてください。

()

(7) 本年に中国産輸入花粉を使用した園地において、火傷病の症状が発生していないか確認をお願いします(市町村ごとに記入をお願いします)。

園地情報		発生状況	
市町村名	面積 (a)	症状の有無	症状の内容・症状を呈した本数
福島市	20	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
伊達市	15	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
桑折町	15	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
		有・無	

【以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。】